つきみの

青森月見寮・つきみの YOU-I・ふらわぁ・月見野作業所・月見野第２・夢香房すてっぷ
じょいん・相談支援事業所じょいん・ホープ　　URL　http://www.tsukimino.org/

社会福祉法人
義 栄 会
青森市[illegible]月見野918-3
電話 017（742）3000
発行責任者　小畑　敦

理事長　小畑敦

昨年末から全世界へと感染が拡大した新型コロナウィルスの脅威が、緊急事態宣言の解除で一旦は落ち着きを見せたと感じていたところ、東京を中心とした感染者の増加や青森市内での約３ヵ月ぶりの感染者確認でその状況は一変し、目に見えないものへの不安感が急速に広がる事態となりました。

国が感染予防対策と経済活動の狭間で迷走している中で、当法人に於きましては、利用者様の健康的な生活の実現に向けての対応を継続して行っておりますが、終息の見通しが立たない中、ご家族を含めた関係者の皆様には今後もご不便をおかけする中で、ご理解ご協力をお願いしなければならないかと思うと胸を締め付けられるような思いです。

例年であれば、ねぶた祭りの賑やかな囃子の音が街中から聞こえ、津軽に住む私たちにとっては心躍らせる時期なのですが、ご存じのとおり、ねぶた祭りも中止となり、春からの施設行事や外出も思うように開催できない状態が続く中で、利用者の皆様の心の健康をいかに維持するかが大きな課題となってまいりました。

一刻も早くこの事態が終息するように祈るとともに、法人職員一丸となって、ソーシャルディスタンスを図りつつも、心はお一人お一人に寄り添い、笑顔を絶やさない暮らしを求めて尽力してまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます

又、この度の状況を鑑みてご対応下さった行政機関並びに医療機関の皆様、利用者様への対応に役立てて欲しいと様々な形でご寄付を下さった関係者の皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。

「思　い　や　り」

つきみのＹＯＵ．Ｉ　管理者　中村ゆかり

障がいのある利用者の皆様の穏やかさと、職員の柔和で誠実なやり取り、その雰囲気が風となって月見野の丘全体を覆う。そこには、前理事長が常々口にしていた「思いやり」のある支援が息づいています。思いやりとは…相手を思い、相手を気遣うこと、その方の為にすることです。そこには当然思いやる相手がいるのです。そして、支援の前提には目の前の利用者の皆様に向けるまなざし、言葉がけ、支援する事全てにおいて、相手を思う気持ちが基本にあるのです。

生きることの意味や価値観は十人十色です。しかし「食う、眠る、遊ぶ、愛される」の４原則の「美味しい食事・清潔な布団で眠ること・楽しいことがたくさんあること・そして優しさや安心できる人たちに囲まれていること」こそ、心地よい生活の基本であり、幸せの入口なのではないでしょうか？

障がいの重度化、利用者の高齢化が進む中で、障がいのある方の意思を確認し、それを尊重した支援が出来ているのだろうか、主体的に生きる為の関わりについてどう考えるか、利用者に寄り添い、その人のことを想う、利用者の皆様の数だけ様々な考えの支援があっていいのではないか、そんな風に思い続ける事で、利用者の皆様の心の奥にある願い、思いに近付づく事が出来るのだと信じ関わっています。

ハンディキャップがありながら、人生を歩んでいる彼らと向かい合うとき、「人としての誠実」という気持ちを意識し、大切にしたいと思っています。一人一人に合わせて計画された支援が基本ですが、利用者の皆様のその日の心身の変化に合わせた、配慮と工夫をもって支援にあたりたいとも思っています。また利用者さんの職員に対する態度に一喜一憂してしまいますが、彼らの普段と異なった行動の「何故」を大切にし、冷静に考える頭と、熱い心を持って支援を展開したいものです。そして、障がいや疾患がある前に同じ「人間」である事、障がいがあるから理解できない、障がい者はこういう傾向があるとの偏見や、専門家という色眼鏡を取り、「もし自分だったら」という発想で、「人として、自分事として、障がいのある人と正面から向き合おう」と伝え続けたいと思います。

昨年ラグビーブームで流行語にもなったＯＮＥチームという言葉があります。私達にとっても支援を提供する上で、ＯＮＥチームの考え方は必要不可欠です。様々な視点やプロセスについて共有し、解決に近づけていくこの仕事にはやりがいを感じています。社会とつながりながら、日々の生活や情緒の安定を図り、豊かな人生作りのお手伝いができる。他の仕事にはない醍醐味を感じます。日々の支援の中で、支援者の行動が利用者の皆様に与える影響力の強さ・大きさに責任の重さを感じるからこそ「思いやる気持ち」を意識しているのかも知れません。これからも仕事と真摯に向き合っていきたいと思っています。

最後に、今でも友人からこの仕事を「大変だね」と言われることがありますが、どの仕事もそうだと思います。私は利用者の皆様の言葉、しぐさ、笑顔に救われることが多々あり、日々新鮮なこの仕事にやりがいを感じています。多くの人たちに楽しくてやりがいのある仕事だという事、障がいのある方から得られるものがたくさんある事をこれからも伝えていきたいと思います。

青森月見寮

【就任挨拶】

社会福祉法人義栄会
法人事務局長兼
青森月見寮事務局長
久保田　実登利

令和２年４月１日付けで社会福祉法人義栄会法人事務局長　青森月見寮　事務長に就任しました、久保田実登利です。

平成５年に青森月見寮事務に入職して２７年になり、庶務、会計を担当していました。

長年事務仕事をしてまいりましたが、管理職と法人事務局としての責務も加わり、一層身を引き締めて日々励んでいきたいと思います。

今年はコロナといういまだかつてないウィルスによる様々な影響が出ており処遇面は勿論ですが、事務局としても運営手続き等従来通りにはいかない状況です。

私も含め若干の事務局の入れ替えがありましたが、これを機に事業所間の事務処理及び情報の共有で効率の良い運営をしていきたいと思います。

【オンブズマンお茶会報告】

９月８日青森月見寮会議室にてオンブズマンと保護者会のお茶会が開催され、その中で出された意見や質問について、寮長が回答した内容は以下のとおりとなっています。

①青森月見寮の財務状況が知りたい。

▼毎年ホームページや広報誌にて法人としての財務報告書を提示しています。

②スピーチロック（言葉での拘束）についてどのように考えているか？

▼人権倫理についての研修会を開催し認識を深められるように配慮しておりますが、まだまだ十分とは言えません。ご指摘を深く受け止め、更に努力していきます。

③高齢化によって体力の衰えが見える利用者への配慮はどのようにしているのか？

▼体力の低下により転倒事故等のリスクが高まっているため、手摺りや歩行器、車いす等を適切に使えるように指導するとともに、これまで行っていた日常的な体力づくりの活動に加え、今年度から健康運動指導士の指導の下、安全で楽しい運動が継続的に行えるよう配慮する中で体力維持増進に努めています。

【令和２年度青森月見寮事業計画】

今年度の事業計画で重点目標として定めたものは以下のとおりです。

①支援者個々のスキルアップと意識改革

幅広い年齢層と障害特性を持つ利用者の皆様に、適切な支援を行うため、支援者個々のスキルアップは必要不可欠です。強い意志と明確な根拠に基づいた支援を確立していきます。

②一人ひとりに目を向けた支援体制の構築

趣味嗜好、障害特性に配慮し「個別化」を意識した活動を計画的に実施するとともに、それに伴う環境の整備に努めます。

③労働環境の充実と負担軽減、居住環境の充実

業務の効率化、負担軽減を考え、今後のICT化、AI導入についての準備を勧めます。

Wi-Fi環境の整備を進め、業務の効率化につなげる他、余暇活動の拡充も意識した対応を進めていきます。

④グループホームの利用者の意思決定支援

一人ひとりが望む生活を実現させるための基本となる意思決定を支えます。生活を楽しむことを実感できるよう、余暇の充実が実感できるよう配慮していきます。

青森月見寮

Aグループ　畑作業

梅雨入り前にジャガイモ、枝豆、三色のパプリカ、ミニトマト、唐辛子を植えました。サルの攻撃に耐え、すくすくと育ったじゃがいもを収穫。昨年以上の収穫となったそうです。それでも、収穫数に限りがあるので皆さんにこのじゃがいものおいしさをおすそ分け出来ないのが残念です。来年に乞うご期待！

Bグループ　屋内活動

おやつ作りを楽しみました。
気になるおやつはプリンにトッピング三昧。トッピングする前でも美味しそうなのに、みんなそれぞれ思い通りにトッピングしてボリュームアップ！
わくわくしながら食べました～
皆さんの思いは
「次のおやつは何かな～」

Cグループ　屋内活動

屋内活動でポンポン（毛糸やリボンで玉房状にした飾り）を作りました。みなさん、あれこれとなやみながら目や口の飾りつけをして世界に一つしかないオリジナルのポンポンを作り上げていました。

編集　伊藤・北山・大山

青森月見寮
電話(017)742-3000
FAX(017) 742-3384
E-mail
tsukimiryou@tsukimino.or.jp

放課後等デイサービス ふらわぁ

今年度は世界的な新型コロナウィルスの感染の拡大により、子ども達の生活は一変しました。

３月から４月にかけて、各学校が休校措置となり、ふらわぁの中では〝密〟な環境の中で長い時間を過ごす日が続きました。

また、昨年末から長く働いてきたスタッフの退職が続き、人員的にも余裕のない中でサービス提供を行ってきました。お子さん達には苦しい思いをさせてしまったかもしれません。

現在は少しずつですが、落着きを取り戻してきているように感じています。このような状況で感じるのは、特定のスタッフでなければ支援が出来ないということではなく、どのスタッフでも同じように支援を提供出来ることが必要ということです。

今しばらくは、コロナウィルスと上手に付き合いながら、活動内容を工夫しながらサービスを提供していきたいと考えています。至らぬ点も多々あるかと思いますが、今後もよろしくお願い致します。

活動の様子

【令和２年度　ふらわぁ事業計画】

今年度の事業計画で重点目標として定めたものは、以下の通りです。

①支援の基本について

・保護者からの聞き取り、ふらわぁでの状況とあわせて障害の特性について理解を深めていく。

・成長に合わせてお子様一人一人のニーズを探り、そのお子様なりの自立を目指して支援を行う。

②支援者の援助技術向上

・スタッフの各種研修への派遣を行っていく。自閉症支援の研修のほか、県内で開催される様々な研修に参加することで、職員個々のスキルアップの向上を図っていく。

・研修会で参加した内容を日々の業務に活かし、より良い支援を行うように努める。

③個別支援計画について

・計画作成の手順、適切な時期の作成と、職員がチームとして計画の作成、実施、評価を適切に行うことの徹底に努めていく。

④業務内容の見直し

・開所以来行ってきた業務について、内容の見直しを今年度も継続して行っていく。支援方法の共通理解を図るためにマニュアル等の作成もすすめていく。

放課後等デイサービス　ふらわぁ　定員１０名　電話(０１７)７５６－５５２０　FAX(０１７)７５６－５５２１　編集：松尾

夢香房すてっぷ

平成17年３月に月見野作業所の分場として開所し、平成20年４月、新体系移行に伴い、これまでは生活介護と就労継続支援Ｂ型の多機能型で運営してきましたが、令和２年４月１日より、生活介護単独の事業所として事業内容を変更しました。それまでは、作業中心の活動体制で取り組んでまいりましたが、利用者の皆様の個別対応と工賃向上のための取り組みとの両立が大変厳しい状況でした。今後は生産活動の機会も取り入れながら、更に個々の利用者の意向や特性に寄り添った活動を提供し、利用者さんの更なる生活の質の向上に努めていきます。

夢香房すてっぷ
〒030-0963
青森市中佃1丁目3-30
電　話　(017)741-7255
FAX　(017)718-5676
メール　step@tsukimino.or.jp
編集　柴田・成田

【令和2年度　夢香房すてっぷ　事業計画】

今年度の事業計画で重点目標として定めたものは以下の通りです。

①日中活動の設定・構築

◇障がい特性、体力、理解力に応じた活動の設定

・個々の障がい特性や理解力に配慮し、活動内容の組み立て、環境整備を行う。視覚支援を取り入れ、目的や活動量等明確な見通しを持って活動に参加していただく。

・入浴、排泄及び食事、また、日中活動を通しての生活能力の向上や、感覚統合を取り入れた運動の機会を作り、心身の健康維持に努める。

・アニマルセラピーの体験を通し、情緒の安定または、意欲や活動性の向上を図る。

◇余暇活動の構築

・タブレットや感覚刺激グッズ等を用いて個別で楽しむ方法、また、利用者やスタッフと関わり合いながら楽しむ方法等、個々へ様々な楽しみ方を提供する。

◇自己決定の尊重

・障がい特性に配慮し、意思形成、意思決定のための必要な情報提供を行い、ひとりひとりの思いに寄り添った対応を行う。

②支援者のスキルアップ

◇法人の使命を実現させるための意識向上

・利用者の人権に対する配慮を最優先に考えられる人材育成を目指す。

◇チームアプローチに対する意識の向上

・チーム連携のための支援手順の可視化を行い、共通認識を図る。

◇スキルアップ

・人権倫理、障がい特性、キャリアパスに対応する研修等、利用者の利益につながるための実践的スキルの向上を目指す。

月見野第２

畑作業

月見野第2では畑作業が始まりました。今年はブルーベリーを始め、さつまいも、かぼちゃに挑戦しています。作物の成長を感じ、秋には収穫の喜びを感じられるよう頑張りたいと思います。

陶芸活動

これまで何度か体験してきた陶芸。
今年は小鉢を作っています。
それぞれ思い思いの形、柄をつけ、今から完成が楽しみです。

室内運動

新型コロナウイルスが世界的に流行し、外出自粛を求められる中、館内でも換気や消毒を徹底し、楽しんで運動していました。
健康運動では、楽器や水入りペットボトルを持って賑やかに踊っています。新しい運動器具も仲間入りし、気分新たに充実した活動を行ってきました。

月見野第２
〒030-0954　青森市駒込月見野916-2
電　話　(017)742-3033
FAX　(017)741-4955
メール　dai2@tsukimino.or.jp

つきみの自然堆肥　注文承ります
1kg 300円　3kg800円です
今年も黒ニンニク販売します

【令和２年度月見野第２事業計画】
今年度の事業計画で重点目標として定めたものは以下のとおりです。

①創作的な活動の提供
特性を理解し配慮することで、より多くの利用者が参加できるよう計画します。
興味や強みの理解と併せ、集中して行える時間や手指の巧緻性などを精査、作成物の工程を整理し、それぞれの個性に対してより一層、物作りを楽しめるよう提案していきます。

②自己決定支援と生活の質の向上
利用者の意向や関心を尊重し、自己決定に基づいたサービスを提供します。
行事や日課などについて一律の内容を提案するだけではなく、小グループ単位に選択的なサービスを提供し、より個人に寄り添うことで、生活の質の向上へつながる支援を行います。

③支援者のスキルアップ
支援スキルの向上のための積極的な取り組みを行います。
経験や現有スキル、求める専門性などを考慮し計画的に研修へ参加。日々の支援に直結する専門研修へ積極的に参加します。

編集　山本・田中

じょいん

防災訓練

令和２年　５月15日（金）

サイレンを聞いてみんな急いで外に逃げています。

その後、消火器での放水訓練を全員一回ずつ行いました。狙い定めて真剣に取り組んでいました。

キッチンじょいん　からのお知らせ

キッチンじょいんでは、お弁当の予約を承っております。お気軽にお問い合わせ、ご注文下さい。お待ちしております。

TEL　（017）743　5517
FAX　（017）763　0265
住所　青森市月見野１丁目７の９

余暇活動

令和２年７月11日（土）

午前はドライブに出かけ、昼食は「かつや」のお弁当を美味しくいただいています。午後は、軽い運動やカラオケを楽しみました。

【令和２年度じょいん事業計画】

今年度の事業計画では重点目標として定めたものは以下の通りです。

① 地域のとの交流を深める拠点作り

「キッチン・じょいん」にて毎月１回こども食堂を開催。年２回町内の高齢者の方との交流の場として食事等を提供します。

利用者の皆さんが接客を担当し地域の方との交流を深めていきます。

② 工賃向上を目指し生産作業を充実させ、収益の増収。

作業量を確保・販路拡大・経営感覚を身につけていきます。

③ 支援者個々のスキルアップ

幅広い年齢層と障害特性を持つ利用者の皆様に、適切な支援を行うため、支援者個々のスキルアップの向上を目指していきます。

④ 日中活動の設定と構築

アニマルセラピーの体験を通し、情緒の安定または、意欲の活性の向上を図っていきます。

また、野外活動、余暇活動を充実させ楽しみ方を提供していきます。

編集・田丸

つきみのYOU.I

編集　葛西

令和2年上半期の思い出。
1月上旬に美術展を観覧したり、自粛が緩和された6月下旬にはアップルヒルへ行ったりしました。感染症予防を徹底しつつ、出来る範囲で地域との関わり・繋がりを大切にしていければと思います。

生活介護事業所　つきみのYOU. I　電話　017-752-6734　FAX　017-742-8787

【令和2年度つきみのYOU. I事業計画】

今年度の事業計画で重点目標として定めたものは以下の通りです。

①地域との関わりを通して、障がい者に対しての理解と意識の醸成を図り、共生社会の実現を目指す。
・戸山西小学校との交流(ベルマーク収集協力)。
・歩行しながらの清掃活動。
・地域の方々にペットボトル、空き缶回収の協力を呼びかける。

②日中活動の充実に向け、個々の興味関心、障害特性を基に創意工夫を図る。
・個々の能力と興味を持ちながら取り組める内容への見直しと、障害特性に配慮した環境整備と内容設定。
・充実した余暇時間の過ごし方に配慮する。
・アニマルセラピーを通し、情緒の安定または意欲や活動性の向上を図る。

③加齢に伴う身体機能減退を予防する。
・行動に移る前の段階でのウォーミングアップ(マッサージ等)。
・歩行の目的を意識した取り組み(リラックス効果、軽運動、筋力低下予防、筋力向上)。

④支援者の意識改革・スキルアップ
・外部研修による専門知識の習得に加え、法人内・事業所内研修により法人理念に基づいた福祉職としての携わり方を強化、定着させる。
・他専門職と連携することで、科学的行動療法(ADLの確立)、不適応行動に対する別視点からのアドバイスを通して対応を振り返り、支援の統一化を図る。
・サービス提供にあたっては、資格取得・経験の積み重ねによって培われた知識・技術が、真に利用者の為のものであることに気付けるよう自己研鑽する。

月見野作業所

管理者
今村　健

これまで20年程、障害福祉サービスの業界で仕事をさせていただき、西北五地区と中南地区の二地区で主に就労支援と相談支援を中心に従事してまいりました。

今までの経験を活かすべく、この度ご縁があり入職しました。平成４年創立の歴史ある月見野作業所という20年、30年と利用し続けている利用者の方々がたくさんいる事業所で、地域の障害の方々の地域生活の充実のためのお手伝いが少しでもできればと思い業務に励む所存です。

現在利用されている22人の方々が、生活介護と就労継続支援Ｂ型のサービスの中で、地域の企業等とつながり、利用者の皆様一人ひとりの力を活かして社会の一員としての役割があり、自ら気づいて行動する自立した生活を実感できる場をどのくらい作ることができるか、また実感した利用者の方々がつらいことがありながらも、笑顔を見せる場面をどれだけつくれるかを真剣に考え、取り組んでいきたいと思います。

そのためには、地域の関係機関の皆様方の協力とご理解を賜りますよう、今後とも末永くお付き合いの程よろしくお願いいたします。

食事会　令和２年６月15日

この日の食事会は、車庫の前から作業所の中庭にかけて、テントを張り、コロナ対策の為、６チーム・少人数に分かれて行いました。

みんなで、準備から協力して行い、バーベキューをお腹いっぱい楽しみました。

月見野作業所
〒030-0954青森市駒込字月見野916-1
電　話　017-742-3004
FAX　017-742-3002

【令和２年度　作業所事業計画】

今年度の事業計画で重点目標として定めたものは、以下のとおりです。

①日中活動の設定

◇障害特性、加齢に応じた体力づくりなどの活動設定

・個々の障害特性や理解力に配慮し、活動内容の組み立てを行う。

・日中活動を通しての生活能力の向上や体力づくりの機会を作り、心身の健康維持に努める。

・アニマルセラピーの体験を通し、情緒の安定または、意欲や活動性の向上を図る。

②工賃向上のための活動と環境整備

◇工賃向上の取り組み

・利用者の活動効率を上げるため、各作業種で自立を目指した支援に取り組む。

・製品技術の習得と商品開発を常に意識する。

・作業環境の再構築を行い効率的な運営を目指す。

③支援者のスキルアップ

◇チームアプローチに対する意識の向上

・チーム連携のための支援手順の可視化を行い、共通認識を図る。

◇スキルアップ

・障害特性に関する研修に重点を置き、実践的スキルの向上を目指す。

編集　荒関・櫻井

社会福祉法人 義栄会 平成31年度 決算報告書
（貸借対照表・事業活動収支計算書）

総 括 貸 借 対 照 表
（令和2年3月31日現在）

（単位:千円）

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	266,403	流動負債	9,291
固定資産	1,408,957	固定負債	105,387
基 本 財 産	1,026,755	負債の部合計	114,678
その他の固定資産	382,201	純資産の部	
		基本金	142,167
		国庫補助金等特別積立金	374,849
		その他の積立金	308,966
		次期繰越活動増減差額	734,698
		純資産の部合計	1,560,682
資産の部合計	1,675,360	負債及び純資産の部合計	1,675,360

総括事業活動収支計算書
自 平成31年4月 1 日
至 令和2年3月31日

（単位:千円）

勘 定 科 目	金 額
サービス活動収益計	555,101
サービス活動費用計	502,370
サービス活動増減差額	52,730
サービス活動外収益計	7,462
サービス活動外費用計	336
サービス活動外増減差額	7,126
経常増減差額	59,857
特別収益計	0
特別費用計	555
特別増減差額	△ 555
当期活動増減差額	59,302
前期繰越活動増減差額	710,197
当期末繰越活動増減差額	769,499
その他積立金取崩額	21,200
その他の積立金積立額	56,000
次期繰越活動増減差額	734,698

障がい者支援施設	青 森 月 見 寮	青森市駒込字月見野918-3	017-742-3000
（生活介護・施設入所支援・短期入所）			
生活介護	つきみのYOU・I(ゆい)	青森市駒込字月見野918-3	017-752-6734
生活介護・就労継続支援B型	月見野作業所	青森市駒込字月見野916-1	017-742-3004
生活介護	月見野第2	青森市駒込字月見野916-2	017-742-3033
生活介護・就労継続支援B型	夢番房すてっぷ	青森市中佃1-3-30	017-741-7255
就労継続支援B型	じょいん	青森市月見野1-7-9	017-743-5517
相談支援事業所	じょいん	〃	017-743-3755
放課後等デイサービス	ふらわぁ	青森市駒込字月見野918-3	017-765-5521
共同生活援助 ホープ	住居 ホープ	青森市東造道3-10-6	017-736-3907
	住居 ほっと	青森市小柳1-7-20	017-741-5541
	住居 こやなぎ	青森市小柳1-6-8	017-741-2565

保健だより

義栄会
通所看護師
野田　真奈美

はじめに、新型コロナウイルス感染対策にたくさんの方々にご協力いただきありがとうございます。非常事態宣言も解除され、少しずつ日常を取り戻しつつある状況とは言え、終息までにはまだまだ長い道のりとなりそうですね。再感染の拡大の可能性も考え「新しい生活様式」を日常生活に取り入れ、引き続き感染予防に取り組んでいきたいと思います。

各事業所でも新型コロナウイルス対策をしています!!

◆新型コロナウイルス感染防止のための取り組み◆

（１）毎朝の検温、健康観察―利用者の皆様、職員も毎日実施しています。施設来客者にも協力して頂き検温を実施しています。

（２）手洗い、咳エチケット、マスク着用―習慣化するように支援をしています。

（３）環境衛生―各施設玄関にアルコール消毒薬の設置。利用者の皆様が多く触れる場所（ドアノブ、手すり、スイッチ、テーブル、蛇口、トイレ等）１日２～３回、アルコール消毒の実施。

（４）３密の回避―２時間ごとに５～１０分、２方向の換気を実施。施設外での外食や活動の制限。

（５）給食の配慮―食事前の手洗い、消毒。食前、食後のテーブルの消毒。食事中はつい立てを利用する施設。席を一席ずつ空け対応している施設、時間差で食事をする。食事中の会話は控える。

各事業所の様子

☆　新　人　紹　介　★

津嶋　昭司さん（青森月見寮　支援員）

福祉業界は初めてですが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。

藤原　優一さん（青森月見寮　支援員）

福祉の仕事は初めてですが、皆さんと元気に過ごせるように頑張ります。

志田　浩子さん（青森月見寮　支援員）

3月末より働いています。1日でも早く仕事を覚えることができるよう頑張ります。

小山内　清香さん（青森月見寮　支援員）

5月より働いております。少しでも早く仕事を覚えられる様、一生懸命頑張ります。

藤井　陽子さん（青森月見寮　事務員）

4月から勤務しています。社会福祉法人での勤務は初めてです。よろしくお願いします。

辻　春菜さん（月見野第2　支援員）

4月より勤務しています。福祉のお仕事は初めてですが、頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

佐藤　志保さん（ふらわぁ　パート）

1月から勤務しています。まだまだ至らない点ばかりですが、これからも頑張っていきたいと思います。よろしくお願い致します。

大森　奈津実さん（ふらわぁ　支援員）

8月1日から勤務しています。これまで介護の仕事をしてきました。児童の仕事は初めてですが頑張ります。よろしくお願い致します。

清野　尚子さん（夢香房すてっぷ　厨房）

8月1日から勤務しています。少しでも早く仕事を覚えられる様頑張ります。よろしくお願い致します。

【年間行事中止について】

令和２年度は東京オリンピックが開催され、華々しい年になるはずでした。誰も延期になるような事態が訪れるとは夢にも思わなかったのではないでしょうか。

義栄会でも例年のようにつきみのまつり、じょいんまつり、わくわくレク(旧合同運動会)が開催される予定でしたが、新型コロナウィルスの感染拡大とその防止のため、中止となりました。利用の皆様やそのご家族、そして地域の方々をお招きしての行事を行うことが出来ない事態となってしまいました。

青森県内でも夏まつりが次々と中止となり、静かな夏となっています。法人内の各施設、事業所でも例年行ってきた外出の行事や旅行などが中止となっています。残念な思いをしている方が多くいることと思います。

それらのイベントに代わるような行事を行うことが出来ない状態ですが、そんな中でも外へ出かけなくても施設・事業所内で出来る活動の充実や、来年度に向けた構想を考え、形にしていこうとしているところです。

このような状況だからこそ、目の前の利用者様にしっかりと向き合い、何を望まれているのかをじっくりと考え、より良い支援を提供していくことが出来れば、結果的に実りのある１年とすることができるのではないかと考えています。今後もご理解・ご協力をお願い致します。

【グループホーム建て替え工事】

６月初旬より、「ＧＨこやなぎ」の建て替え工事が始まりました。

１ヵ月かけて取り壊し、現在は建築工事が進んでいます。完成予定は１０月下旬で、これまでと同じ場所に新しい「ＧＨこやなぎ」が建つ予定です。新しい「ＧＨこやなぎ」は２階建てで、定員は６名。完全個室の６部屋のうち１部屋は、車椅子対応のお部屋となります。１階にはキッチンとリビングがあり、明るい世話人さんとの談笑や手作りの食事で、入居する利用者さんがほっと一息つける、そんな場所になって欲しいと考えております。

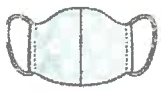
これからも利用者さんが安心して生活できる環境作りに努めてまいりたいと思います。興味を持たれた方は完成後、ぜひ見学にいらしてください。

「完成予定写真」

マスク寄付の御礼

この度の新型コロナウイルスの流行により、まだまだ不安な日々を過ごしていらっしゃる方も多いと思います。

特にマスク不足が深刻な問題となっておりましたが、ご父兄の皆様をはじめ、青森市や近隣の方々からマスクの寄付を多数いただいたおかげで、無事利用者の皆様全員にマスクをお渡しすることができました。この場を借りて御礼を申し上げたいと思います。誠にありがとうございました。



【編集後記】

新型コロナウイルス対策のため、行事予定や内容を大幅に変更しての活動内容を行って来ました。広報内容も、お伝えする内容が少なく感じる方が多いかもしれません。新生活様式の予防対策をとりながらも、楽しみながら活動出来るように考え、明るい話題を提供したいと考えております。

月見野作業所　櫻井